

自宅から利用できる学修支援のためのウェブサイト

図書委員会

本学でこれから始まる遠隔授業の予習・復習や課題の調査などのために、自宅からインターネットにより無料で利用できる学修支援のためのウェブサイトの紹介をします。大いに活用してください。なおこの情報は 2020 年 4 月 20 日現在のものです。

【情報資源の探し方のガイド】

- リサーチ・ナビ（国立国会図書館）[全分野]

<https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>

国立国会図書館の職員が調べものに有用であると判断した図書館資料、ウェブサイト、各種データベース、関係機関情報を、特定のテーマ、資料群別に紹介しているもので、「調べ案内」や「テーマ別データベース」などの項目から調べられます。

【蔵書を検索する】

* 緊急事態宣言期間中は閉館している図書館が多いですが、基本的な蔵書検索サイトは把握しておきましょう。

- 國學院大學栃木学園図書館蔵書検索（國學院大學栃木学園）[全分野]

<https://www.kokugakuintochigi.ac.jp/toshokan/search.html>

本学園の図書館です。約 30 万冊の蔵書を誇る皆さんにもっとも身近な図書館です。

- 国立国会図書館サーチ（国立国会図書館）[全分野]

<https://iss.ndl.go.jp/>

国立国会図書館をはじめ、全国の公共・大学・専門図書館や学術研究機関等が提供する資料、デジタルコンテンツを統合的に検索できます。

- CiNii Books（国立情報学研究所）[全分野]

<https://ci.nii.ac.jp/books/?l=ja>

全国の大学図書館等が所蔵する本（図書や雑誌等）の情報が検索できます。

- Webcat Plus（国立情報学研究所）[全分野]

<http://webcatplus.nii.ac.jp/>

全国の大学図書館 1000 館や国立国会図書館の所蔵目録、新刊書の書影・目次 DB、電子書籍 DB など、本に関する様々な情報源を統合して、それらを本・作品・人物の軸で整理した形で提供しています。人間の思考のように例示によって関連情報を求める「連想検索」機能も提供しているユニークなサイトです。

- 国立国会図書館デジタルコレクション（国立国会図書館）[全分野]

<https://dl.ndl.go.jp/>

国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できるサービスです。図書（戦前～昭和 43 年まで）、雑誌、古典籍、官報、音声・映像資料など、多岐にわたる資料が含まれています。

【論文を検索するー全分野】

- CiNii Articles（国立情報学研究所）[全分野]

<https://ci.nii.ac.jp/>

論文や図書・雑誌等の学術情報を検索できるデータベースです。国内の学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの学術論文情報を検索できます。（全文検索も可。）一部論文本文の閲覧も可能です。

- IRDB：学術機関リポジトリデータベース（国立情報学研究所）[全分野]

<https://irdb.nii.ac.jp/>

日本の学術機関リポジトリに蓄積された学術情報（学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等）を横断的に検索できます。

- Google Scholar（Google）[全分野ー学術資料]

<https://scholar.google.co.jp/schhp?hl=ja>

学術資料を対象として検索するもので、論文、学術誌、出版物の全文が検索できます。普通の Google 検索との違いは、ネット上に散らばっている同一論文をまとめて表示する点にあり、日本語以外の学術資料も検索対象になります。

【文学・言語学】

- 国文学論文目録データベース（国文学研究資料館）[日本文学]

<http://base1.nijl.ac.jp/~rombun/>

日本文学研究論文の総合目録データベース（明治・大正・昭和・平成）です。

- 日本古典籍総合目録データベース（国文学研究資料館）[日本文学－古典籍]

<http://base1.nijl.ac.jp/~tkoten/>

日本の古典籍（慶応4年までに日本人が著した書籍）の書誌・所在等についての情報を提供する総合目録データベースで「国書総目録」所載の所在・翻刻複製情報（写本、版本、活字・複製・謄写本）を併せて表示します。

- 古典籍総合データベース（早稲田大学）[古典籍]

<https://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/>

早稲田大学図書館が所蔵する古典籍について、その書誌情報と全文の画像を公開しているデータベースです。

- 日本語研究・日本語教育文献データベース（国立国語研究所）[日本語学]

<https://bibdb.ninjal.ac.jp/bunken/ja/>

日本語学、日本語教育に関する研究文献のデータベースです。

国立国語研究所が発行していた『国語年鑑』『日本語教育年鑑』に掲載されている文献情報を元にしており、1950年から現在までの関係論文・図書について検索できます。

【歴史学】

- 全国遺跡報告総覧（奈良文化財研究所）[考古学]

<https://sitereports.nabunken.go.jp/ja>

埋蔵文化財の発掘調査報告書を全文電子化して、インターネット上で検索・閲覧できるようにした“報告書のインデックス”です。

- 東京大学史料編纂所データベース（東京大学史料編纂所）[日本史]

<https://wwwap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/>

日本史の有用なデータベースを「史料の所在」「できごとを主題に」「画像をさぐる」「全文の検索」「人を主題に」「辞典・字典」の六つの区分からたどることができるようにしたものです。

- データベースれきはく（国立歴史民俗博物館）[日本史]

<https://www.rekihaku.ac.jp/doc/t-db-index.html>

館蔵資料データベース、所蔵図書データベース、研究成果・論文目録データベース、記録類全文データベースからなります。この中の「データベースれきはく1」は一般公開されており、登録申請しなくても利用できます。

- 国立公文書館デジタルアーカイブ（国立公文書館）[日本史]

<https://www.digital.archives.go.jp/>

国立公文書館所蔵の特定歴史公文書等の目録情報の検索、公文書や重要文化財等のデジタル画像等の閲覧、印刷、ダウンロードが可能なインターネットサービスです。

- 国立公文書館アジア歴史資料センター（国立公文書館）[日本史]

<https://www.jacar.go.jp/>

アジア歴史資料センターは“インターネット上の資料館（デジタルアーカイブ）”です。国立公文書館、外務省外交史料館、防衛省防衛研究所などが保管するアジア歴史資料のうち、デジタル化された画像を公開しています。

【法律】

- e-Gov 法令検索（総務省行政管理局）[法律]

https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0100/

各府省が確認した法令データを提供しています。原則として、一部改正法令や施行日政令等は検索できません。

- 日本法令索引（国立国会図書館）[法律]

<https://hourei.ndl.go.jp/#/>

明治19年2月の公公式施行以後の法令と、帝国議会及び国会に提出された法案が検索できます。また、法令の改廃経過や法案の審議経過等が参照できます。

【経済】

- ARRIDE（アジア経済研究所）[経済]

<https://ir.ide.go.jp/>

アジア経済研究所の研究成果をオンラインで発信するシステムで、研究者の外部発表論文を無料公開しています。

- 『経済史文献解題』データベース（大阪経済大学）[経済]

<http://kaidai.osaka-ue.ac.jp/kaidai3/index.php>

主に日本で出版された社会経済史・経営史と関わりのある著書・論文の文献解題データベースです。

【統計】

- e-Stat 政府統計の総合窓口（独立行政法人統計センター）[統計]

<https://www.e-stat.go.jp/>

各府省等が公表する統計データ、公表予定、新着情報、調査票項目情報などの各種統計情報をこのサイトからワンストップで提供しています。

【教育学】

- 教育研究論文索引（国立教育政策研究所教育図書館）[教育学]

<https://nierlib.nier.go.jp/lib/database/RONBUN/>

国立教育政策研究所教育図書館で受け入れている雑誌・大学紀要等について、教育関係の論文・記事をピックアップして登録しています。収録範囲は1963～1966, 1969～1970, 1980年度～現在です。

- E-TOPIA（東京学芸大学附属図書館）[教育情報]

<https://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/top.html>

東京学芸大学附属図書館が運営する教育情報のポータルサイトで、現職教員や研究者、教員を目指す学生など教育に関わる方に必要な情報を効率よく収集できる環境を提供しています。

- 教育系サブジェクトリポジトリポータル（東京学芸大学附属図書館）[教育学]

<https://ir.u-gakugei.ac.jp/edu-rp/>

機関リポジトリを通じて提供される大学等の研究成果から、教育分野の情報のみを収集し、教育分野に特有の主題・キーワードから検索できる仕組みを提供するもので、現在、大阪教育大学・兵庫教育大学・奈良教育大学・愛知教育大学・上越教育大学・文教大学・東京学芸大学の7大学がデータを提供しています。

- 臨時休業期間における学習支援コンテンツポータルサイト（子供の学び応援サイト）
（文部科学省）[学習支援]

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

令和2年3月2日にサイトが公開されました。「子供の学び応援コンテンツリンク集」や「学校の教科等を学ぶ」（小学校・中学校・高等学校における学習支援コンテンツ、特別支援教育における家庭学習の参考資料、臨時休業期間における家庭での過ごし方への配慮（幼稚園））などから構成されています。

【芸術学】

- 文化遺産オンライン（文化庁）〔文化遺産〕

<https://bunka.nii.ac.jp/>

文化庁が運営する我が国の文化遺産についての電子情報広場（ポータルサイト）です。全国の国・公・私立博物館、美術館等のうち、文化遺産オンラインに登録している館から、所蔵する文化遺産に関する情報を提供しています。

- e 国宝（国立博物館）〔文化遺産〕

<http://www.emuseum.jp/help/ja>

国立文化財機構の4つの国立博物館（東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館）が所蔵する国宝・重要文化財の高精細画像を、多言語（日本語、英語、フランス語、中国語、韓国語）による解説とともに提供しています。

【家政学】

- 家政学文献索引データベース（日本家政学会）〔家政学〕

https://dbr.nii.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000085KASEI

家政学に関する国内文献について、著者、表題、掲載誌等を収録したデータベース。

- 食品成分データベース（文部科学省）〔家政学〕

<https://fooddb.mext.go.jp/>

日本食品標準成分表 2015年版（七訂）等をデータソースとして、食品成分に関するデータをインターネットを通じて提供しているものです。

- 身装文献データベース（国立民族学博物館）〔服装関連分野〕

<http://htq.minpaku.ac.jp/databases/mcd/publications.html>

服装関連日本語雑誌記事、服装関連外国語雑誌記事、服装関連日本語図書、服装関連外国語民族誌で構成されるデータベースです。

<参考：収集した情報の整理のために>

さまざまな情報資源によって必要な情報を集めたあとは、きちんと整理しておかないとせっかく収集した情報がどこかにまぎれて探せなくなってしまうかもしれません。情報の整理についても、インターネット上で無料で利用できるサービスもあります。

ここでは参考までに Evernote (情報蓄積サービス)、slack (チームコミュニケーションツール)、inoreader (RSS リーダー)、pocket (Web ページクリッピングサービス) の4つのサービスについて簡単に紹介します。

○Evernote (<https://evernote.com/intl/jp>)

簡単にテキストを保存したり、写真やファイルを記録したりできるメモアプリ。例えば、学校からのプリントも、Evernote に記録すれば、失くす心配なし！

有料版もあるが、無料版でも十分機能が利用できる。

- ・ [事例] 「スマホ・タブレットで書類を簡単にスキャン」

<https://evernote.com/blog/jp/document-camera-mobile/>

- ・ Evernote ガイド (学生向け)

[https://help.evernote.com/hc/ja/articles/217961187-](https://help.evernote.com/hc/ja/articles/217961187-Evernote-%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89-%E5%AD%A6%E7%94%9F%E5%90%91%E3%81%91-)

[Evernote-%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89-%E5%AD%A6%E7%94%9F%E5%90%91%E3%81%91-](https://help.evernote.com/hc/ja/articles/217961187-Evernote-%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89-%E5%AD%A6%E7%94%9F%E5%90%91%E3%81%91-)

- * 初めて利用する場合、たとえば Google で「Evernote 初心者」で検索してみてください。参考になる情報が得られます。

○Slack (<https://slack.com/intl/ja-jp/>)

チームコミュニケーションサービス。企業内のチームのコミュニケーションを行うためのツール。LINE グループと似ているが、チャンネルを設定するので、話題ごとに会話できる。例えば、サークルの Slack を作り、合宿をするためのチャンネルを立ち上げて、そこで合宿の相談をする、などの使い方もできる。

- * Google で「Slack 始め方」「Slack サークル」などで検索してみてください。

○Inoreader (https://www.inoreader.com/?lang=ja_JP)

RSS リーダー。RSS は Web サイトの更新情報を配信するためのもので、Inoreader に登録をしておくと、登録された Web サイトの更新情報をまとめて見ることが出来る。ニュースサイトを登録すれば、最新ニュース情報を一覧で見ることができる。もちろん、趣味の Web サイトも登録できるし、「ニュース」「趣味」のように項目を分けて登録することもできる。

- * Google で「Inoreader 使い方」で検索してみてください。

○Pocket (<https://getpocket.com/>)

Web サイトのクリッピングをするサービス。いわゆる「あとで読む」をするために、クリッピングをするもの。様々なサービスと連携されているので使いやすい。例えば前述

した RSS リーダーと組み合わせれば、後で読みたい記事を登録しておけば、読み返すことができる。(保存するわけではないので、ページが削除されると見られない)

*Google で「Pocket 使い方」で検索してみてください。